

日本子ども虐待医学会学術集会にご参加予定のみなさまへ

第15回日本子ども虐待医学会学術集会大会長の溝口史剛です。例年であれば既に“まな板の上の鯉”になっているはずなのですが、台風10号の接近という事態を受け、その対応に追われる状態です。皆様におかれましても、学術集会に参加できるのか否かについて悩ましい状況になっていると思います。

台風10号は非常にゆっくりかつ非常に強い勢力を保持しており、さらにはその後の進路もなかなか予測しがたいこれまでにあまり類例のない台風のようなようです。学会の前半は西日本に、そして学会の後半は東日本に大きな影響を与える可能性があり、「来れるのか？」という懸念と同時に「帰れるのか？」という懸念のある状況となっております。

台風10号に伴い、8月27日の18時より学会の緊急理事会を開催し議論を行いました。結論から申し上げますと、プレコングレス・学術集会共に予定通り開催をするという決定を行いました。この決定に異論のある参加者の方もいらっしゃるかもしれません。諸事情を勘案し、どうぞご理解いただけましたら幸いです。また、具体的に意見があります方は、どうぞ学術集会宛てにメールを頂けましたら、より詳細な討議内容や大会長ポリシーについてご説明させていただきたいと考えております。

非常に予測を立てづらい状況故、あらかじめキャンセルポリシーを提示し難い状況でもあり、個人に有責性のない交通機関の物理的遮断に伴う学会不参加の際の救済措置などに関しても、後日検討し、都度ご提示差し上げたいと思っておりますので、学会終了後も引き続きHPをご確認いただけましたら幸いです。

以下に現時点のポリシーを提示いたします。

ご自身ならびにご家族、ならびに周囲の皆様の安全・安心を最優先してください。私どもも、参加者の安全と運営スタッフ（含、ボランティア）の方々の安全・安心を最優先して運営を致します。

それ故に、開催地である前橋市に暴風警報または特別警報が出た場合には、ここでお話しした方針を急遽変更し、当学術集会を中止する可能性もある点につきご了承ください。

また演者が参加困難になるなどで、講演・発表などが部分的に急遽中止になる可能性があります。またそのような場合に、講演・発表予定の方々は、開催終了以降に実施予定のオンデマンド配信に向け、後日収録をお願いする可能性がありますので、その際にはどうぞご協力いただけますようお願いいたします。

当学術集会において、ライブ配信の予定はありませんでしたが、急遽、行う可能性を含めて検討をしましたが、光回線を引き込む工事をする上での日程がタイトかつ業者の確保が現在極めて困難な状況です（同様案件の申し込みが業者側に殺到しているとのことです）。ポケットWifiなどによる配信とせざるを得ない状況ですが、なかなか環境が安定しないのが実情です（昨日の緊急理事会に私は、会場目の前のコンビニの駐車場から docomo 5G の wifi に繋ぎ参加しましたが、確かに途中何度か途切れてしまう状況でした）。この状態が技

術的にクリアに出来るかも検討をしておりますが、現状ではクオリティーとして皆様に満足していただくことが困難な状況です。それ故に、現地参加困難な場合の代替は、後日のオンデマンド配信を中心にせざるを得ません。一般演題は当初オンデマンド配信の予定とはしていませんでしたが、充実した配信にするために、症例報告を除き、オンデマンド配信を追加で行うことを検討しております。もちろん演者の方の同意を得た上の話になりますが、可能な限り協力していただければ幸いです。また、発表まで時間がございません故、Dutyでは全くありませんが、あらかじめ参加が困難と判断される演者の方は、音声収録したパワーポイントを事前にお送りいただければ、現地で討議し、後ほどフィードバックさせていただくなどの対応を検討させていただきます。

プレコングレスで実施する BEAMS 2・AHT 研究部シンポジウム・事例検討会に関しては、秘匿性の高い情報を扱う故に、これまで各委員会はライブ配信を行わない方針としておりました。今回、特例としてライブ配信可能であれば、ライブ参加を認める方針とするかどうかも話し合いましたが、やはり実情は難しいとの結論に至っております。プレコングレスに関しては、オンデマンド配信を行う予定はございませんので、その点をご了承いただきますようお願いいたします。また、不可抗力で参加が叶わなかった方々にどのような救済措置を図るのか（どのようなキャンセルポリシーとするのか）は、事後に協議の上、決定させていただきますので、どうぞご連絡をお待ちいただきますようお願いいたします。

なお、学会事務局・大会事務局としては、予測が立たない要因も大きく、大会の中止／開催に関して個別に的確な回答を行うことが困難な状況にあります。それ故に原則としてホームページ上やメーリングリストによる連絡を持って見解に代えさせていただきます。ただし緊急の場合にはその限りではありません。とりわけ安全に関わる状況につきましては、どうぞ情報を共有していただければ幸いです。

前橋の地で皆様にお会いできることを楽しみにしておりますが、皆様やそのご家族、皆様の関わっているお子さんやそのご家族のことをどうぞ最優先してください。一生懸命に子どもたちのために働いている者同士であれば、今回の学術集会への参加が出来なかったとしても、またすぐにどこかでお会いすることとなると思っています。

何卒よろしく願い申し上げます。

第15回日本子ども虐待医学会学術集会  
大会長 溝口 史剛